

総合事務所の時間外受付体制の見直し問題

「まだ地域協議会での説明は終わっていない」 「防災行政無線、放送の遅れは命にかかわる」

上越市は来年4月から総合事務所の時間外受付体制を見直し、吉川、安塚など10総合事務所での受付をやめ、柿崎、浦川原、板倉区の3総合事務所、木田庁舎へ集約しようとしています。それに伴い、休日、夜間の防災行政無線の放送の仕方、総合事務所が一番近いところに住む総合事務所職員から登庁してもらい、放送する仕組みに変えようとしています。

これらは市の行政改革の一環として行われるものですが、関係区の地域協議会や町会会長などに丁寧に説明し、意見を聴き、それらを検討することが重要です。合意を得られない場合は、新たな取組をやめる勇気も必要です。

9日の総務常任委員会の審査では、地域協議会などへの説明と方針決定について、「地域協議会、町内会などへの説明責任を果たしたと考えているのか」などの質問が相次ぎました。

このなかで、地域協議会などへの2回目の説明は方針案ではなく、市が固めた方針として説明したことを批判する声が強く出されました。なかには、地域協議会への説明が今議会で関連予算が議決してからになるところもあります。議会に対しては改革の方向性を示し、各区地域協議会開催情報などを流し、「見直しに係る情報や動向に触れていただくことが



できるよ、意を用いた」としていますが、行政当局が議会から意見を聴くことは一切してきませんでした。こうした進め方には民主主義がありません。これらの点は私からもきびしく指摘しました。

時間外の死亡届などの受け付けは、これまで13区のすべての総合事務所で受け付けていましたが、柿崎、浦川原、板倉以外の区ではこれら3区総合事務所か木田庁舎へ出向かなければなりません。急ぎの時は、名立の山間部から木田庁舎へ行く人も出てきます。

防災行政無線に関しては、1分1秒の遅れが市民のいのちと安全にかかわることもありえます。ところが、それぞれの区において、今回の新しい方針で放送で行った場合、これまでよりもどれくらい

遅くなるかを把握すべき担当課が把握していなかったのです。これは私の質問で明らかになりました。正直言って、びっくりしましたね。

関連議案の審査の結果、最終的には関連予算が可決されてしまいました。ただ、賛成した委員も、「時間外受付の見直しにあたっては、地域住民への説明を一層丁寧に行うとともに、令和2年度当初からの円滑な実施に向け最善を尽くすこと」などの付帯決議を提案、可決しました。



【オニノゲシ】キク科の越年草。漢字で「鬼野芥子」と書きます。春から秋にかけてずっと見かける花ですが、今年は12月になっても黄色い花を咲かせています。花言葉は「毒舌」。吉川区代石にて撮影。

時間外受付関連の2つの 請願、一つは採択、いま 一つは不採択

今議会で提出された、総合事務所の時間外受付に関する請願は、2つありました。

ひとつは安塚区の吉野誠一さんが提出した、「13区の地域協議会が審議し、意見をのべる権限を正当に行使できるまで、いったん保留すること」を求めるといふ請願です。

この請願は、滝沢、栗田、近藤の3委員と私が賛成した結果、賛成4、反対3で採択されました。

いまひとつは、「地域の課題を考える会」（代表世話人、山岸晃一さん、佐藤忠治さん）が提出した、「総合事務所の時間外受付の見直しの実施時期を延期し、住民の意向や意見を十分に確認すること」を求めたものです。

こちらは、賛成が近藤委員と私だけで、他の5人は反対したため不採択となりました。



はしづめ法一の 活動レポート

No.1938 2019.12.15
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第五八六回 K先生のこと

おそらく一年近くのご無沙汰だったと思います。同級生のシヨウイチ君のところへ同級会の記事を送ったビラを持っていった後、K先生のごごへ寄つてきました。

この日は十二月とは思えない晴れの天気、米山さんや尾神岳、それに妙高山など頸城三山もよく見えました。馬正面で何枚かの風景と赤とんぼの写真を撮った後、先生の家に向かいました。

玄関で、お連れ合いと挨拶を交わした際、「先生、お元気でしょうか」と言ったところ、「元気です」という言葉が返つてこなかったのが、少し心配になりました。

お連れ合いに勧められ座敷に上がり、待たせてもらったものの、先生の姿はなかなか見えません。「お待たせしました」と言つてK先生が姿を見せたのは五分くらい経つてからでした。でも、顔は色つやもよく、とても元気そうに見えました。安心しました。

この日、先生は私の母校である旧源中学校時代の思い出をたっぷり語ってくださいました。

K先生は昭和三五年の四月から三年間、旧源中学校に勤務されてきました。私とは一年間の付き合いだったのですが、英語の授業でお世話になっただけでなく、テニス部の顧問をしてくださったこともあって、何年もお世話になった感じがしています。

私から「先生は白い体操ズボンをはいてテニスの指導をされていて、みんな、カッコいいと言っていましたよ」と言つと、K先生は、穏やかな表情でゆっくりと語ってくださいました。

最初は庭球部の話です。旧源小学校の故中村三代志先生や吉村商店のご主人、故吉村博さんが部活に参加してくださったことや対外試合で部員たちが頑張ったことなどを教えてくれたのを思い出した。

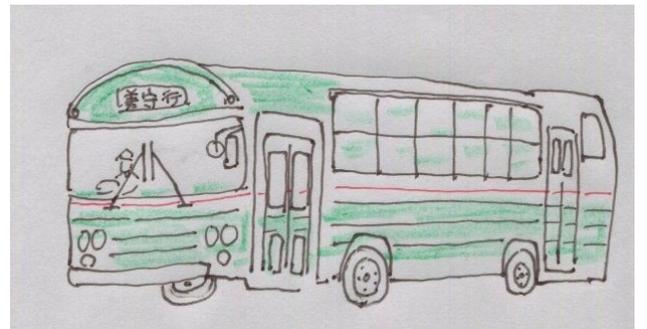
じつは私は以前から先生にお尋ねしたいと思つていたことがあります。それは、裸足でテニスをやっていたことについてです。私の記憶では、旧源中テニス部では練習はもちろん、対外試合を含め試合ではすべて裸足でテニスをやっていたと記憶しています。実際には、どうであったかを確かめたかったのです。

これについては、K先生から新しい事実を教えてくださいました。確かに、旧源中学校テニス部の生徒は裸足で対外試合にのぞんだことはあるが、柿崎のテニスの元祖、小松雄吉先生に「裸足だとテニスコートを傷めるので運動靴を履くように」という指導があったということでした。この結果、部員たちは、「テニスシューズを履いたかどうかは分からないが、少なくとも運動靴を履いたはずだ」とのことです。

米山登山の話は初めて聴きました。詳しいところはわかりませんが、源中学校を朝四時ごろに出発、旧泉谷小、旧上山小を経由して米山に登り、帰りは柏崎市側に下りたということでした。たぶん、大平の方に下ったのでしよう。でも帰りは汽車に乗ったという確信はなく、バスだったのではないかと語っておられました。この米山登山については、強行軍だったのでしよう、K先生は、「とにかく疲れた」を何度も繰り返しておられました。

K先生は八八歳。白髪と黒ぶちの眼鏡が似合います。話を聞いて目に留まったのは先生の後ろの床柱にはりつけてあった板です。板には、相澤木城先生の筆で芭蕉の句が書かれています。「この道やゆく人なしに秋の暮れ」。秋から冬に向かう時期の寂しさがかっこいいK先生の姿と重なりました。すつとすつと元気でいてほしいです。

路線バス利用の請願、総務委員会で不採択に



三和区今保の平林雅至さんが8月、1000名を超える賛同署名とともに議長に提出していた「公共交通機関である路線バス利用に関する請願書」は9日の総務常任委員会で不採択となってしまいました。

採択することに賛成したのは私、橋爪と市民クラブの近藤委員のみ、他の5人の委員は反対でした。

この請願は、①70歳以上の高齢者、障がい者、生徒・学生の通学定期を無料化すること、②バス運賃は一律1乗車100円とすること、③通勤、通学におけるバス利用促進のため、朝、晩のバスの増便をすることを求めたものです。

採決を前にした各委員の意見表明では、「新たな公共交通政策の内容を見る必要がある」「請願の趣旨については賛成だが、現時点で可能かどうかとなると難しい」「今後の地域公共交通はもっと長期的に見る必

要がある」として採択に反対の意見が続きました。

私は、「全国を取組を調べて見たが、100円バスについては、福岡、弘前、鳥取、掛川市など取り組み事例はたくさんある。(100円バス等を実現するためには)お金はかかるが、そこは政策の重点にすることで実現できる。高齢化、人口減少が進む中で、バス利用は重要になってくる」とのべて賛成しました。

この請願は9月議会で継続審査となっていました。そうなったのは、市の公共交通政策の策定中であり、その動きを見た上で判断したいなどの声があったからです。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月4日(水)	12月11日(水)
上越南消防署	0.050	0.047
上越北消防署	0.057	0.043
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.047	0.060
東頸消防署	0.057	0.050
高士分遣所	0.050	0.047
名立分遣所	0.053	0.047